

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理総合	学年	第1学年	類型	
単位数	2単位	教科書	高等学校 新地理総合(帝国書院)		新詳高等地図(帝国書院)		
補助教材							

学習目標	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解し、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。また、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、それらを基に議論したりする力を養う。
------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	・日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解する。	中間考査
	5月	第2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	・現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。	
	6月	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活	・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。	
	7月	2節 世界の気候と人々の生活	・世界の人々の生活文化について、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
2 学期	8月	3節 世界の言語・宗教と人々の生活	・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする。	中間考査
	9月	4節 歴史的背景と人々の生活	・世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきた。このような歴史的な背景が、人々の生活文化にどのような影響を与えてきたのかを考察する。	
	10月	5節 世界の産業と人々の生活	・産業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのかを考察する。	
	11月	第2章 地球的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地域的課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題	・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向や課題相互の関連性などについて大観し理解する。 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。	
	12月	5節 食糧問題 6節 都市・居住問題	・地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	
3 学期	1月	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災	・我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。	学年末考査
	2月	3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え	・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して主題を設定し、自然災害への備えなどを多面的に考察し表現する。	
	3月	第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望	・生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。	

学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義型の授業を中心としたうえで、動画や画像などの資料を活用する。 ・グループワークやペアワークの時間をとり、生徒が主体となって考える時間をつくる。
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	知識：地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解している。 技能：地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに対し、粘り強い取り組みを行うとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整し、主体的に追究、解決しようとしている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査		